

かたの



R4. 6.13
形埜小学校
校長室だより



ササユリを守る 先週の火曜日のことです。トレセンの南斜面のササユリ群生地が荒らされました。(恐らく、鹿に…) 前日につぼみの数を数えたばかりでした。40本程のつぼみを見つけましたが、火曜日荒らされた後に数えたら、10本あるかないかというところでした。3年生が、発見しました。うわさが4年生まで広がり、4年生もすぐ様子を見にきました。「1. 2. 3 ~ 10…、10しかない…」と言葉を失っていました。この4年生のササユリにかける思いは半端ではなく、昨年度の学ぶ様子について、育成会の会長 [] さんも、感心してみました。

校長室に6回ほど、「ササユリハウスについて」要望を訴えに来たほどです。ササユリの学習のまとめも立派にできたので、南大須群生地に紹介されています。

右の写真は、育成会の方がさっそく、すぐ次の日に学校に来て、網を補強してくださっているところです。ササユリを守ることの大変さを実感したできごとでした。



◆「南大須ササユリ群生地」に初めて足を運んだときの衝撃が忘れられません。ササユリの可憐さは言うまでもありませんが、山・紫陽花・田んぼ・青空・整備されたその場所の美しさは、うまい表現が見つかりません。「こんな絵に描いたような空間」があるのだと驚きました。(この美しさを守るため、育成会の皆さんが草刈りや整地、点検、調査活動をずっと続けられています)どこにでも咲く花ではないので、わざわざ県外から訪れる方もいます。

◆今週金曜日17日に1, 2, 3年生で、出かけてきます。(3年間行くことで、ササユリの実態・比較にも目を向けてほしいというねらいがあります&何より形埜の宝であるササユリの魅力をしっかり追究してほしいなどと思っています)

◇17日午後、4年生と育成会会長の [] さんと一緒に市長さんと教育長先生にササユリを届けてきますね!



図書委員の集会 寸劇仕立てで、「図書室の正しい使い方」を楽しく伝えてくれました。

◆若葉読書月間スローガン

「じっくりと本を読んで、本の世界を感じよう」

読書通帳に、本で感じた「世界」を書いて教えてね!

4年生オンラインで [] 小と一緒に授業

[] 小の3年生が「川」について学習しているということで、形埜の川の学習をしている4年生とオンラインで学び合いました。

途中、「川の透視度」の話題になり、形埜小からは、「6年生が調査し、全校に報告している調査結果が記録されているホワイトボード」を運んできて見せていました。~「数値はわかったけど、結局どちらがきれいということですか?」となり、お互いに答えられず…。すると、今度は [] 小の子が、「数値ときれいさがわかる表」を探してきてくれて、見せてくれました。その結果、今のところ、どうやら形埜の川の方が透明度が高いということで、教室に歓声があき起こりました。右下の写真は、授業が終わり、お互いに手を振って「バイバイ」をしているところです。遠く離れている教室と、こんな簡単に会話ができるなんて、ワクワクしますね。答える時、伝える時、自然に笑顔になっていたのがいいなと思いました。

